

マイクロソフト社の社会貢献活動の一環として、子どもや家族を、急増するインターネット犯罪などのリスクから守ることを目的とした「親子で学ぼう!小学生インターネット安全教室」が12月1日(土)、銘苅小学校で開催されました。

当日は、テレビ番組の戦隊もので活躍した俳優の市川洋介さんが講師となって、61名25組の親子が、楽しみながらクイズ形式でインターネットを活用する上でのルールとマナーを学びました。



有害情報から子どもを守ろう ～親子で学ぼう!小学生インターネット安全教室～

市では、教育に対する関心と理解を深めるとともに、明日の那覇市を担う、たくましく心豊かな人間性を備えた子どもたちを育成することを目的に12月9日を、「なは教育の日」としました。

初の「なは教育の日」となった12月9日(日)には、なは教育の日宣言や少年の主張などが行われた式典のほか、新都心多目的広場で、市内の17中学校と11小学校の旗頭が披露された「やる気・元氣旗頭フェスタinなは」も開催されました。



学んだ力は夢になる! ～なは教育の日～

300年以上の歴史を持つ伝統の壺屋焼きを、多くの市民、県民や観光客に親しんでもらおうと、11月22日(木)から25日(日)の4日間、壺屋小学校で「第28回壺屋陶器まつり」が開催されました。

壺屋焼の26の窯元が出店した会場では、まつり期間中、陶器などが市価の2割から5割ほど安く購入できるとあって、オープンと同時に、会場には多くの買い物客が訪れ、茶碗や大皿、壺などを手に、熱心に品定めする姿が見られました。



伝統の技と美しさに触れよう ～第28回壺屋陶器まつり～



人権や平和! 共に考えよう ～第23回うないフェスティバル2007～

「今いのちを語る」を広げよう 伝えよう 繋げよう」をテーマに、人権や環境、福祉などの活動に取り組む団体が一堂に会し、日頃の活動の成果を展示、発表する「第23回うないフェスティバル」が11月25日(日)、新都心銘苅庁舎で開催されました。

会場には、「人権」、「平和」、「子ども」など、八つの分野に43の団体が参加し、パネル展示や舞台発表などで、来場者に活動やその成果をアピールしました。

アジアの窓口なは 漆器でつながるアジアの国々 パート1

アジアの漆工芸展

二〇〇八年 一月五日(土)～三月二十六日(水)

琉球としてタイミンヤマー・ヴェトナムの漆器たち



柔らかくぬもり帯びた光沢で、私たちがとりにこする漆器。実は、トーターメ(位牌)や重箱などご先祖の行事に登場するのも漆器です。

漆器は、アジア独特の工芸で、中国や大陸部の東南アジア、朝鮮半島、日本そして沖縄で作られてきました。ウルシの木や類似の樹木に傷を付けにじみ出た汁が漆で、色の粉を混ぜ鮮やかな塗料にして器に塗ります。さらに、貝や金箔などを貼り豪華な漆器に仕上げます。また、漆は接着材や防水、錆止めなどの優れた機能を持つ素材で、環境にやさしい自然からの贈り物ともいえます。

王国時代的那覇港からは、中国皇帝や日本の諸大名への贈答品や交易品として、王国の看板工芸の漆器が多数海を渡りました。

ところで、東南アジアの国々でも、各民族の造形美あふれる漆器を作っていました。

琉球王国の「堆錦」とよく似た技法が、ミャンマーやタイにあります。遠く離れた国々ですが、それぞれ、中国との深い関わりがあります。どのような歴史の接点か、漆器の技法として表れたのか興味はつきません。この展覧会では、国宝の尚家の漆器や刀剣(北台菜切)をはじめ、明治以降も沖縄の特産品となった琉球漆器、さらに今も伝統の技法が残るミャンマーやタイ、ヴェトナムの漆器を紹介します。

■ギャラリートーク
一月十二日(土)
午後二時

前田孝允氏

(浦添市美術館長)
パレットくもじ4階
☎869-5266

那覇市歴史博物館
那覇の歴史・文化を体感!

“沖縄から世界へ”

I ♥ EX

<http://www.gaitame.com>

外国為替をもっと身近に

外為どっとコム

お問い合わせセンター 携帯・PHSからもOK ☎0120-430-225

(月曜日 朝7:00～土曜日 朝6:00までの24時間 土・日を除く)

株式会社外為どっとコム 金融商品取引業者 登録番号:関東財務局長(金商)第262号